

# St. Luke's International University Repository

聖路加看護大学年報: 2008年度 (平成20年度)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-01-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10285/4728">http://hdl.handle.net/10285/4728</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# XV 施設・設備

## 1. 施設・設備の整備状況

### 1) 現状の説明

本学は東京都と埼玉県と神奈川県 の 3 カ所に施設を所有している。本部は東京都中央区明石町で、5,074.81㎡の校地があり、校舎の延べ面積は8,403.93㎡である。

本部校舎から地下鉄築地駅寄り徒歩2～3分ほどのところに地下1階、地上8階建てのビルの大学2号館がある。2号館の校地面積は435.20㎡で、校舎の延べ面積は3,106.00㎡である。

本部がある東京都中央区明石町地区から電車で1時間ほどの埼玉県ふじみ野市に運動場があり、テニスコートが2面ある。また、テニスコートに隣接した敷地には18ホールのターゲットバードゴルフ場がある。

この他に神奈川県鎌倉市稲村ガ崎には実習施設「鎌倉アリスの家」があり、各種研修会、実習、クラブ・サークルの合宿、レクリエーション等に広く利用されている。

### 2) 校地

校地の現状は以下のとおりである。

区 分	面 積 (㎡)	所 在 地	権利の所有
明石町地区本部校舎敷地	4,639.61	東京都中央区明石町10番1号	自己所有
2号館敷地	435.20	東京都中央区築地3丁目8番5号	自己所有
計	5,074.81		
ふじみ野市地区 運動場用地	11,505.00	埼玉県ふじみ野市大井中央1丁目	自己所有
計	11,505.00		
鎌倉地区校舎敷地	2,524.26	神奈川県鎌倉市稲村ガ崎3丁目5番6号	自己所有
計	2,524.26		
合 計	19,104.07		

### 3) 建物

#### (1) 本部校舎

校舎建物の各階ごとの施設内容・面積は以下のとおりである。

校舎は鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造りで地下1階、地上6階、床面積8,403.93㎡に、教室、研究室、実習室等の教育用施設および法人事務局、大学事務室等の管理部門がある。

(単位：㎡)

階	主 な 室 名	教 室	研 究 室	図 書 館	そ の 他	階 面 積 合 計
6	講義室、研究室、演習室、ラウンジ	272.31	0	0	937.80	1,088.07
5	科学実験室、研究室、共同研究室、教員ラウンジ	214.00	357.00	0	517.07	1,088.07
4	講義室、コンピュータ室、研究室等	464.49	259.74	0	363.84	1,088.07
3	講義室、図書館、演習室等	494.03	0	304.57	289.47	1,088.07
2	図書館、ラウンジ、学生自治会室等					
1	学長室、事務部室、教務部室、健康管理室、会議室、ロッカー室、倉庫等	0	0	0	1,018.26	1,591.54
	講 堂				573.28	
B	アートルーム、更衣室、倉庫等	373.11	0	0	937.80	1,310.91
	合 計	1,817.94	1,003.63	772.93	4,809.43	8,403.93

## (2) 2号館

(単位：㎡)

階	主 な 室 名	教 室	研 究 室	管 理 関 係	階 面 積 合 計
9	空調室、機械室等			64.58	64.58
8	演習室、ラウンジ等	139.0		107.65	246.65
7	共同研究室、演習室、ラウンジ等	244.0		106.10	350.10
6	講義室、修士ラウンジ等	244.0		106.10	350.10
5	研究支援室、研究オフィス、ミーティングルーム等		244.0	106.10	350.10
4	共同研究オフィス、研究オフィス、ミーティングルーム等		244.0	106.10	350.10
3	交流ラウンジ、多目的ルーム等		244.0	106.10	350.10
2	メディアルーム、システム支援室、サーバー室等	244.0		106.10	350.10
1	事務室、ぼるかルーム、ロビー(市民健康情報センター)等			330.42	330.42
B	ロッカールーム、倉庫、ポンプ室、空調機械室			363.75	363.75
	合 計	871.0	732.0	1,503	3,106.00

## (3) 教室・演習室等

## ①本 部

学内教室・演習室等の施設の内訳は、2008年4月末現在、講義室13室、コンピュータ室2室、視聴覚教材室1室の構成となっている。そのうち3階の301、302教室はそれぞれ100名収容できる教室で、AV機器を備え、講堂とサテライト方式で映像を結ぶことが可能で、卒業式やオープンキャンパスなどの行事の際に出席者が多いときに有効に活用されている。コンピュータ室には学部と大学院用にコンピュータが52台設置されており、専属のチューターが常時学生にコンピュータの操作技術を指導している。

教室にはOHPやOHC、電子黒板などの視聴覚機材が配置されており、学習上効果が上がるよう行き届いた配慮がなされている。

研究室は45室あり、原則として教授・准教授はそれぞれ個室、助教は2人で1室を利用している。

## ②2号館

2号館は地階がロッカールーム、倉庫、空調機械室、受水槽ポンプ室等、1階は事務室、聖路加ナビスポットるかなび、ぼるかルーム、2階はメディアルーム、システム支援室、サーバ

一室、3階から5階は看護実践開発研究センターが設置され、3階は交流ラウンジ、多目的ルーム、相談室がある。4階は研究オフィス、WHO、聖ルカ看護学会、ミーティングルーム等、5階にはセンター長・専任研究員室、研究支援室、研究オフィス等がある。6階から8階は大学院で使用しており、6階には講義室、修士ラウンジ、7階は研究室、演習室、博士ラウンジがある。8階は演習室と修士のラウンジがあり、大学院生に有効に活用されている。

#### (4) 鎌倉アリスの家

鎌倉市稲村ガ崎3丁目5番6号に実習施設「鎌倉アリスの家」がある。木造スレート葺2階建て、スウェーデンハウスの瀟洒な建物である。

1階の演習室には視聴覚機材、ホワイトボードを備え、2階には10名の宿泊が可能なベッドルームと和室があり、少人数のグループワークや実習、レクリエーションにも利用されている。

階	室名	階面積 (m <sup>2</sup> )
1	演習室、1・2、管理人室、台所等	66.11
2	宿泊室、和室、浴室、洗面所等	62.36
	合計	128.47

#### 4) 機器備品の受入状況について

2008年度の機器備品の受入状況は以下のとおりである。

	購入によるもの	寄贈されたもの	合計
教育研究用機器備品	25点	23点	48点
その他の機器備品	2点	0点	2点

#### 5) 体育施設について

- ①埼玉県ふじみ野市大井中央にテニスコートが2面とターゲットバードゴルフ場があり、ロッカーを備えたコートハウスが設置されている。
- ②本部のある明石町には体育施設はないので、体育の実技は近隣にある築地魚市場厚生会館体育館および聖路加ガーデン内にあるスポーツクラブと契約して水泳等の授業を行っている。

## 2. 施設・設備の維持管理

### 1) 現状の説明

#### ①本部

建物の清掃保守、消防設備の点検保守、エレベータ、中央監視盤、空調設備の管理等は専門業者に委託して保守管理を行っている。施設設備の点検も細かいチェックリストを作成して定期点検を行っている。

電気設備保守点検は関東電気保安協会に委託して毎月の検針、検査を行っており、電気設備、高圧受変電設備の定期点検等の保守も行われている。

警備については、中央区シルバー人材センターに依頼して警備員1名が平日午後5時より8時まで、また、講演会、研修会等の行事、催し物の際に正面玄関の守衛と学内巡回警備を行っ

---

ている。

② 2号館

2号館についても1階事務室の受付業務、清掃、空調設備、警備など管理全般について専門の業者に委託している。

2) 点検・評価および課題

①本部

施設・設備全般の保守管理について、電気・空調・消防・水槽等をコントロールする中央監視盤の管理、保守整備など本来なら維持管理専門の現業担当者を配置しなければならないところを事務職員が日常の業務の合間に対応しており、専任の施設設備要員の確保は是非とも必要である。

警備体制については、夕方玄関の出入りが多い時間帯にのみ警備担当を置いて夜間8時以降は警備員を置いていない。火災時の対応は中央監視盤を通じて聖路加国際病院施設課・防災センターに依頼している。

大学の敷地面積、施設・設備、収容人数等を勘案すると管理体制は決して万全とはいえない。専任の担当者を置くか、外部のビル管理会社等に委託するなどして管理体制を万全にすることは早急に対応を要する緊急課題である。

② 2号館

施設・設備全般の保守管理について、電通ファシリテイ㈱に依頼している。

管理体制については1号館同様午後8時以降警備員を置いておらず、火災発生や空調、エレベーターなどの保守の面でも十分とはいえず、今後の対応を検討することが必要である。